

威厳を持って伝統を舞う

大償神楽 山伏神楽の競演 鵜鳥神楽



鵜鳥神楽「山の神」

村の鳥居地区にある鵜鳥神社うづりに伝わる鵜鳥神楽と大迫町の
大償神楽おほしくい、初の合同公演が村観光協会(熊谷泰彦会長)主催で、
一月十二日、自然休養村管理センターを会場に大迫町から大償
神楽の代表、佐々木隆さんら十一人が村を訪れ行われました。
公演には、村内外から三百人余りの神楽ファンたちが押し寄せ
る大盛況ぶり、観客たちは、鵜鳥神楽の三拍子で舞う激しく
もダイナミックな動きと優雅で静なる舞いの大償神楽を堪能
同じ山伏神楽でありながら沿岸と内陸の舞の違いに見入って
いました。



「松迎」を舞う (鵜鳥神楽)

鵜鳥神楽、大償神楽とも県を代表する山伏
神楽で、鵜鳥神楽は文化庁から「記録作成等
の措置を講ずべき無形民俗文化財」に指定さ
れています。大償神楽は、国の重要無形民族
文化財で早池峰神楽の二大流派の一つでもあ
ります。
公演では、鵜鳥神楽、大償神楽それぞれ五
演目ずつ披露。「山の神」、「松迎」の二演目は
同一演目で、鵜鳥神楽は「清祓」、「榊葉」、「恵